

# 「信仰は誰のためか」

## ～ 聖書を読み解くキーワード：神の栄光（後編）～

イントロ：

### 1. 問題意識

- (1) アモス8：11 「主のことばを聞くことのききん」
- (2) 神中心に聖書を読むとは、どういうことか。
- (3) 「人類の救い」でなく「神の栄光」というキーワードで聖書を読み解く。

### 2. 復習

- (1) エデンの園
- (2) 旧約聖書
  - \* シャカイナグローリー
  - \* 幕屋（神殿）に宿るシャカイナグローリー
  - \* エゼキエルの時代にシャカイナグローリーは去った。
- (3) 新約聖書
  - \* イエスはシャカイナグローリーそのものである。
  - \* イエスの死の本質は父なる神（シャカイナグローリー）との断絶。
  - \* 神殿の垂れ幕が二つに裂けた。
  - \* 昇天の意味は重要である。

ヘブル7：24、25 大祭司イエス。

エペソ2：5、6 天の所に座らせてくださった。

### 3. アウトライン

- (1) 教会時代
- (2) 大患難時代
- (3) 千年王国
- (4) 新しい天と新しい地

「神の栄光」は聖書を読み解くキーワードである。

## I. 教会時代

### 1. 教会時代とは

- (1) イエスの死以前は、「律法の時代」
- (2) イエスの死によって、「恵みの時代」が始まった。
- (3) 終末論は、「恵みの時代」から始まる。
- (4) 「恵みの時代」は、「教会時代」と「大患難時代（7年間）」に分かれる。

2. 教会時代は、ペンテコステ（五旬節）に始まった。
  - (1) 使徒2章のシャカイナグローリー
    - ①激しい風
    - ②炎のような舌
  - (2) 3千人ほどが弟子に加えられた。
3. 異邦人のための使徒パウロの改心
  - (1) 使徒9章のシャカイナグローリー
    - ①天からの光
    - ②使徒22：6 天からまばゆい光が私の回りを照らした。
    - ③使徒26：13 太陽よりも明るく輝いて…。
  - (2) 盲目になったパウロ
  - (3) 目からうろこのようなものが落ちて、目が見えるようになった。
4. 携挙
  - (1) エルサレムが滅びて（70年）以降、いつ携挙が来てもおかしくない状況にある。
  - (2) Iテサロニケ4：16～17
    - ①号令、御使いのかしらの声、神のラッパの響き
    - ②主が天から下って来られる。
    - ③第一の復活の2番目が起こる（教会時代の聖徒の復活）。
  - (3) 黙示録4：1～11
    - ①7つの封印が開かれる前の状態（大患難時代が起こる前）
    - ②白い衣を着て、金の冠を頭にかぶった24人の長老たち
    - ③「白い衣」とは、罪赦された状態
    - ④24は象徴的数字（I歴代24章、ダビデによる祭祀の組分け）
    - ⑤教会全体を指す。大患難時代の前に教会は天に上げられている。
    - ⑥御座からいなくすと雷鳴。7つのともしび。
    - ⑦父から受けた冠を御座の前に投げ出している。

## II. 大患難時代

1. 名称
  - (1) 主の日、ヤコブの苦しみの時（エレミヤ30：7）、ダニエルの70週目（9：27）
  - (2) 黙示録では、試練の時（3：10）、御怒りの大いなる日（6：7）。
2. 期間は7年
  - (1) 前半の3年半
  - (2) 後半の3年半
  - (3) 始まりは、ユダヤ人が反キリストと契約を結ぶ時。1948年以降それが可能。
3. 目的
  - (1) 邪悪な行為、邪悪な者を一掃する。

- (2) 世界大のリバイバルを来たらせる。144,000人は、この時代に救われるユダヤ人。
- (3) イスラエルの民の頑なな心を打ち壊す。

#### 4. 内容

- (1) 7つの封印
- (2) 7番目の封印は、「7つのラッパの裁き」
- (3) 7番目のラッパは、「7つの鉢の裁き」

#### 5. ハルマゲドンの戦いと再臨

- (1) 第6番目の鉢がぶちまけられた時、東の王たちがハルマゲドンに集結。
- (2) 再臨の前提は、ユダヤ人の悔い改め（ゼカリヤ12:10）
- (3) 実際の戦いは、ヨルダンのペトラ（ボズラ）にて（イザヤ34:6、63:1）
- (4) 第7番目の鉢がぶちまけられた時、キリストがオリーブ山に立つ。
- (5) エルサレムは三つに裂かれる。地形の変化あり。
- (6) 大淫婦（背教の教会）と大バビロン（政治、経済）の滅び。

### Ⅲ. 千年王国（メシア的王国）

#### 1. 小羊の婚姻（marriage 黙示録19:7）と、小羊の婚宴（marriage supper 9節）の違いについて

- (1) ユダヤ式結婚式。婚約。クリスチャンはすでに小羊と婚約した状態にある。
- (2) 花婿が花嫁の家に行き、自分の家に連れ帰る。携挙。
- (3) それから婚姻（婚礼）を行う。天においてそれが行われる。
- (4) 最後に婚宴。地上において招待客を呼んで行われる。
  - ①旧約時代の聖徒
  - ②バプテスマのヨハネ
  - ③大患難時代の聖徒
  - ④彼らは、第一の復活の第3番目となる。
- (5) 小羊の婚宴が、千年王国の開始を告げるものとなる。

#### 2. 千年王国の状態

- (1) サタン、反キリスト（獣）、偽預言者の滅び（悪の三位一体）
  - ①サタンは「底知れぬ所」で千年間縛られたままになる。
  - ②反キリストと偽預言者は、「硫黄の燃えている火の池」に投げ込まれる。
  - ③悪の影響がないので、より理想に近い環境となる。
- (2) イエスが王である。
- (3) 教会時代の聖徒たちは、多くの座にすわり、裁きを行う。
- (4) 大患難時代の殉教者たちも、キリストとともに千年王国の間王となる。
- (5) 旧約時代の聖徒たちも、よみがえっている。
- (6) 信者でない人々の復活は千年王国の終わりに起こる（第2の復活）。

## (7) 千年王国の神殿 (エゼキエル 40～48 章)

- ①いけにえ：キリストの犠牲を記憶し、記念するもの。
- ②43：4～5 シャカイナグローリーの神殿への帰還

## 3. 解き放たれるサタン

- (1) 罪が完全になくなるわけではない。
- (2) 千年王国の終わりに、不信仰な人々が増加する。
- (3) 彼らを試すために、サタンが解き放たれる。
- (4) 世界大の戦争 (黙示録 20：7～10)
- (5) サタンの滅び。反キリスト、偽預言者とともに「火と硫黄の池」に投げ込まれる。

## 4. 白い御座の裁き

- (1) 新しい天と新しい地が出現する前の準備。
- (2) キリストが御座に着き、あらゆる時代の不信者たちが裁かれる。第二の復活。
- (3) 「数々の書物」：各人の行いが記録された書物。
- (4) 「いのちの書」：誕生したすべての人の名が記されている。
- (5) 罪人の名が「いのちの書」から消されていることを確認し、「数々の書物」に基づいて裁きが行われる。裁きには軽重がある。
- (6) 「小羊のいのちの書」：信者の名が記されている。裁かれない。
- (7) 不信者は、「火の池」に投げ込まれる (ハデスの苦しみの場所は消滅)。

## IV. 新しい天と新しい地

- 1. 旧約聖書のクライマックスは千年王国
- 2. その先を預言しているのが、黙示録 21～22 章。
- 3. 「以前の天と地」は滅び、「新しい天と新しい地」が創造される。
  - (1) その中に「新しいエルサレム」が据えられる。
  - (2) 天から下ってくる (すでに存在している。ガラテヤ 4：26)。
  - (3) アブラハムが求めていた (ヘブル 11：9～10)。
  - (4) 創世記 3：16～19 の呪いが取り去られる。
  - (5) 「見よ。神の幕屋が人とともにある」
- 4. プレゼントの中身は、詳細には分からない。

## 結論

- 1. 神中心に聖書を読む。
- 2. 信者に幸いな地位。
- 3. 不信者の永遠の悲劇。